



株式会社惣アグリフーズ

おおさき たくや 大崎 拓也

2022年5月から株式会社惣アグリフーズで働き始め、日々汗を流して仕事に励んでいる大崎拓也。就農を志し、新たなステージへと踏み出した大崎が、これまで歩んできた道のりとは。半年間の取り組みと仕事への思いにも迫る。

野球がもたらしてくれた縁

地元の鹿嶋市で広報活動をしていいた大崎が就農を考えたのは、コロナ禍がきっかけだった。イベント関連の仕事が急激に減り、テレワークによって自宅で過ごす時間が多くなったため、生活に張り合いが感じられなくなっていたのだ。そこで、かつて農業協同組合の不動産部門で働いた経験を活かしつつ、地元で農業をしていく道を本格的に模索し始めた大崎。だが、働きながら技術や知識を学ばせてくれるところが見つからず、次の一步を踏み出せずにいた。

そんなとき、高等学校で野球部のコーチをやっていた先輩から、「知り合いに、レンコンの栽培事業をやっている人がいるよ」と紹介され、合資会社羽生惣吾商店の社長と出会う。

社長が野球の監督として中学生のクラブチームを率いていたことから、思わぬつながりがあったのだ。大崎はグラウンドに出向き、社長と会って自身の就農への思いを伝えたところ、快く社員として受け入れてもらえたのだった。

地に足をつけて農業と向き合う

惣アグリフーズの一員となった大崎は、水を得た魚のように仕事に打ち込んだ。さまざまな業務があるなかで、最も充実感を味わえるのは、何と言っても田んぼで行う作業だ。オーガニック栽培のため、夏の炎天下に行う草刈りや草抜きは決して楽な仕事ではない。だが、自然に囲まれて気持ちのよい汗がかけられるのは、以前の仕事にはない醍醐味の一つだ。特に手塩にかけたレンコンの収穫の喜びはひとしお。たとえ思うような収穫量が確保できなかったとしても、栽培には、まだまだいろいろなやり方があるはずだと、前を向いている。日々のデータを蓄積して他の作り方と比較参照しながら、工夫を重ねて改善に取り組んでいくつもりだ。

事業の拡大に挑む

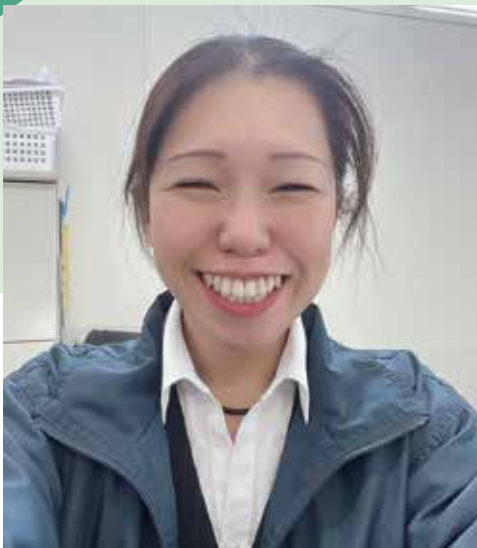
休日は、サウナやスーパー銭湯で日頃にたまった疲れを癒している大崎。ときには、友人とお酒を飲んだり、草野球をプレーしたりして、プライベートの時間を充実させている。心身ともにリフレッシュできるひとときは、明日の仕事への大きな原動力だ。

現在、惣アグリフーズでの事業は、レンコンとソルガムとブロッコリーの3種類。なかでも、メインの事業であるレンコンの売り上げを伸ばしていくことが、大崎のこれからの目標だ。SNSの活用や、ECサイトの作成、オンライン直売所への登録などを通して販路の開拓を積極的に行うなど、多角的に展開していくための基盤整備に力を入れている。

農業に本格的に取り組み始めてから、まだ日は浅いものの、さまざまな知識や技術を意欲的に身につけて会社に貢献していきたいと意気込んでいる大崎。飽くなき向上心を胸に、これからも進化し続けていくことだろう。

合資会社羽生惣吾商店

いわたみのり
岩田 美里



もともとは都内で不動産営業の仕事に携わっていた岩田美里が、帰郷を機に合資会社羽生惣吾商店に入社したのは2018年。以来、米の売買事業とドローン事業の営業事務として内側から羽生惣吾商店を支えている。そんな岩田に、仕事での心がけや今後の目標について話を聞いた。

きめ細やかな仕事で 事業に貢献

現在は、農家から買い取った米の在庫管理や、業者との売買に関する書類作成と窓口業務を担当。1回の取り引きで、30キログラムの玄米を最低でも400袋程度扱うため金額も大きく、請求書や契約書の作成時には細心の注意を払っているという。また、相手方と電話でやり取りをする際は、会社の顔として丁寧な対応に努める姿勢だ。

加えて、ドローンによる農薬散布や操縦講習、そして販売事業のフォローも担う。まだ慣れない部分も多しなか、最新の技術で米農家に貢献しようと奮闘する日々を送っている。

優先順位を決め、 無駄なく業務を進める

新米の仕入れ時期である8月中旬から9月にかけては1年で最も忙しく、毎年バタバタと落ち着かない期間を過ごす。そんなときこそ仕事の順位づけが非常に重要になってくると語る岩田。日頃から順序立てて業務を進める努力はしているが、この時期は特に、優先順位を意識しているのだ。在庫数に関する部分を最優先に、あとは付随するものをどのように進めていくか……。ルーティンワークは一つもなく、毎日優先すべき事項は変化するため、常に業務フローの見直しを行うことを忘れない。

協調性が最大の味方

事務方が正確な在庫数を把握し、その増減についてタイムリーな情報を的確に報告することは、営業や外商の担当者が速やかな対応を取るために重要だ。そこで岩田は正確な数値管理をしようと表を作成、それに対する意見をもらい改良を加えるなどして、試行錯誤を重ねている。

「幸い、社内はとてもアットホームな雰囲気、事務職同士だけではなく他の部署の社員ともコミュニケーションを取りやすい環境です」。このフラットさを生かし、業務改善に関しても気軽に意見をもらえるのは羽生惣吾商店の魅力の一つだ。

留まらない向上心

「事務職としては、今後も地道にミスのない仕事を続けていきたいと思っています」。

そう今後への思いを語る岩田は、以前に一度、納品のための配車を忘れるという失敗をしてからというもの、目に見える場所にメモを残したり、部署内で必須事項を共有したりと、作業もれ防止に取り組んでいる。また、現在は業務効率向上を目指し、部署内でミーティングを重ねている真最中。今後はより効率的で無駄のない仕事を実現させるつもりだ。

羽生惣吾商店の躍進のため、これからも岩田は強力にサポートし続けることだろう。

＼ドローンを活用！／

鉄コーティング種子による 直播栽培について

Vol.4



4号にわたってご紹介してきた、ドローンを活用した直播栽培。
今年度はどんな結果を迎えたのでしょうか？
大坂さんに分析していただきました！



株式会社アグリフーズ
取締役(担当役員)
おおさか かずよし
大坂 和義さん

「ちほみのり」栽培結果

てんかい さとし
天海 恵之さんの圃場にて

面積:0.95ha 収量:3600kg 単収:6.3/10a

減収理由 ①雑草が生えてしまったこと

除草剤は田んぼに水がある状態であれば、根に浸透して雑草防止になりますが、土や草の露出があると効果が落ちてしまいます。また、散布の後に水が流れると薬剤も一緒に流れてしまうのです。今年はその水の管理がうまくいかず、雑草が生えてきてしまいました。

減収理由 ②ばか苗(出穂の遅い種)の存在

種籾が原因だと考えています。毎年、種の良し悪しはある程度ありますが、今年は全体的に種の品質が良くなかったのではないのでしょうか。

良かった点

データと専門家の指導により、
施肥計画が成功したこと

施肥と追肥は通常、生産者が経験則で決めていきますが、今回は実験補助の方を交え、実際の土壌と稲の生育データを取り、専門家の指導を仰ぎながら栽培を実施。そのため、水入れと水抜きのタイミングなどをうまく見極めることができ、穂数を確保することができました。

「しきゆたか」栽培結果

おおさか かずよし
大坂 和義さんの圃場にて

面積:0.41ha 収量:2350kg 単収:9.5/10a

面積:0.38ha 収量:2207kg 単収:9.6/10a

減収理由 田んぼの水入れ期に水を入れすぎてしまい、根がしっかりと張れていなかったこと

成長するにつれて、頭が重くなり、風で倒伏してしまいました。倒伏すると、成長が止まりますし、田んぼに水があるとせっかくできた種籾が水に浸かっています。規格未満となる1.8mm未満のくず米を多く出してしまったことで、減収につながってしまったのです。また、倒伏した稲穂をコンバインで収穫した際、切断できずに踏んでしまった分も減収につながりました。

良かった点

単収9.5～9.6を記録できたこと
単収9.5～9.6という数字は、**粒がたくさん実っていたという証拠**でもあります。ドローンで収穫量を増やすためには、従来の苗を植える方法以上に、水の管理に気をつけることが大事だと実感しています！

来年度の対策

水の管理

自然落水後に常に湿った状態を維持すること。乾いてきたら、苗がある程度育つまでは走水で対応します。

除草剤の散布

今年は初期剤を種と同時処理後に中後期剤を散布しましたが、タイミングが悪く、雑草が生えてしまった部分がありました。来年は、初期剤を種と同時処理後、20日後頃に初中期一発剤を散布する予定です。その後、雑草の様子を見ながら、中後期剤の散布を検討していきます。また、雑草がひどい圃場は、代掻き後に除草剤を入れることも検討。今年もやりましたが、時期については、もう少しシビアに判断していくつもりです。



ドローンを活用した直播栽培の 成功への秘密に迫る!

当社で取り組んできたドローンを活用した直播栽培。「収穫量が以前よりもアップした」という大坂さんの圃場では、どんな取り組みをされていたのでしょうか?

株式会社惣アグリフーズ
取締役(担当役員)
おおさか かずよし
大坂 和義さん

収穫量アップにつながったポイント

1つ目のポイントは、種まき前の「代掻き」という作業のときに、**水平な圃場をつくること**ができた点です。田んぼの水を切ったときに凹みがあると、そこに水が溜まり発芽しにくくなってしまいます。2つ目のポイントは、**肥料と水の定期的な管理**です。事前に株式会社惣アグリサービスの方と計画を立て、肥料の量や水を入れたり切ったりする時期のデータを取り、分析をしながら行ったことが収量アップにつながったと考えています。

ドローン直播のメリット

1番のメリットは、**労働者への負担を削減**できることです。例えば、除草剤を散布する作業。従来は200m×200mの敷地で30kgの機械を背負い、足をとられながら2時間かけて撒いていた大変な作業が、**ドローンを使うと5分**で終わります!労働者の身体への負担が劇的に減りますし、人員削減、時間短縮も可能です。田植え機も不要になるため、経費削減にもつながります!

今後の目標

株式会社惣アグリサービスの協力を仰ぎながら、ドローンを活用した米づくりをこれからも進めていくことです。田んぼで苗を育てあげ、水の管理を習得することで、今後さらに作付面積や収穫量を増やすことができると考えています!

農業革命!?

農業用ドローン AGRAS T10のご紹介

この夏、多いときには30件もの依頼をこなす日もあったという大人気の農業用ドローン「AGRAS T10」。インストラクターの渡邊さんが、その驚異的な性能と実力を紹介します!

農業用ドローンAGRAS T10でできること

米の栽培では、種の散布に始まり、除草剤や防虫剤の散布など、稲刈り前までのさまざまな作業を行うことができ、野菜の農薬散布にも適しています。重さは10kgほどで50ccのバイクの後ろに乗せることができるほどコンパクト。アームもワンタッチで開き、リモコンスティックの反応もよく、ユーザビリティに優れているため、**初心者の方でも使いやすいドローン**です。

AGRAS T10を使用するメリット

当社でドローンをご購入、またはご依頼をいただければ、稲や野菜の育ち具合を見て、**1番効き目のあるときを狙って農薬を散布するサービス**が付いてきます。何と言っても、カメムシ対策への効果は抜群です!もともとは、当社をご利用してくださっているお客様のカメムシ被害を解決するために使っていたのですが、そこから口コミで広がり、2021年の夏は水稻への農薬散布だけで1日20~30件の依頼をこなす日もありました!さつまいもの栽培においては、農薬散布をしていない箇所はほとんど虫に食べられ、散布した箇所はほぼ葉が残るというような顕著な差が。ドローンの効果は、他の野菜でも十分に期待できると考えています。

株式会社
惣アグリサービス
インストラクター
わたなべ ひろし
渡邊 浩史さん

読者へのメッセージ

ドローンを使って解決できることがあれば、何でもやろうと思っています。ひとまず当社にご相談ください!

連絡先(株式会社惣アグリサービス)
TEL:0478-52-2212

K.B.A NEWS



私が入団したワケ



香取ベースボールアカデミーの今をお届けする『K.B.A NEWS』!
今月は小学部と中学部のメンバーから、入団したワケを教えてくださいました。
熱のこもったメッセージをぜひご覧ください!

香取ライオンズ

小学5年

とみやま しょう

富山 勝さん



香取ライオンズ

小学4年

まえかわ るり

前川 瑠璃さん

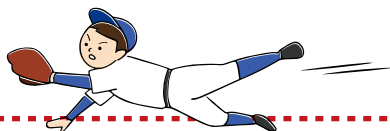


入団したワケ

小学部の指導方針に惹かれ、入団しました。1つ目が挨拶の徹底。2つ目が野球は楽しくやろう。3つ目が指導者の方々が一人心の性格を見て得意、不得意を見分けて指導をしてくださるところ。これらの指導方針に共感したことが入団したワケです!

入団してよかったこと

練習時間が長く、たくさん野球を勉強できるし、上手くなれることです!



入団したワケ

兄が入団しており、毎回試合の応援に行っていたので、チームのことは知っていました。初めは「私はやらない!」と家族に話していましたが、体験会に行ってみて「私もチームの皆と一緒に野球をやりたい」と思い、入団を決めました。

入団してよかったこと

上下関係を学べたり、小さい子の面倒を見たりなど、仲間との絆や人間力を高められているところです。楽しく何かを続けられることがとてもよいと思います!

香取ベースボールアカデミー

中学2年

きうち そうた

木内 蒼太さん



香取ベースボールアカデミー

中学2年

かまがた たいよう

鎌形 大耀さん



入団したワケ

少年野球の先輩から聞き、チームを知りました。初めは知らない人ばかりで不安でしたが、自ら動き野球に真剣に向き合っている姿を見て尊敬し、入団を決めました!

入団してよかったこと

野球はもちろん、人との接し方なども学ぶことができたことです。以前よりも自分から考えて積極的に動けるようになり、「なぜできないのか」「どうしたらできるのか」を考え、行動することができるようになりました!

入団したワケ

小学校のときに所属していた「香取リトル」の先輩が入団していたことから、チームを知りました。体験会のときに目標に向けて一生懸命練習している皆の姿を見て、「自分も野球が上手になりたい」と思い、入団を決めました。

入団してよかったこと

礼儀などの人間性を高めることができたことです。チームでは指示を受けてからではなく、足りないものを自ら見つけて練習をしています。以前よりも積極的に行動できるようになり、入団してよかったと思います!

選手4名からのメッセージ

K.B.Aは、人間性も野球の技術も高めることができるチームです!
土曜日の練習は、海外の方とリモートで会話ができたり、小学部も中学部と一緒に練習ができたりするなど、他のチームでは経験できないことがたくさんあります!
野球に興味がある方もない方も、ぜひ一度体験会に参加してみてください。どんな方でも大歓迎!体験してみると楽しさが分かります。一緒に楽しく野球をしましょう!

